

「新潟市工之跡」碑保存のため有志の会を結成しました

1. 新潟市立工業高等学校（略称・新潟市工）とは？

- ・昭和 20 年（1945）に設立され、機械科・電気科・造船科があり、且つ働きながら学ぶ人の為の定時制を併設、延べ 7,000 人の技術者を社会に送り出しました。
- ・新潟市立工業学校は、下町唯一の高校として戦後の高度成長を支えてきた学校でした。また、昭和 39 年の新潟地震では、地域の方々の避難場所となりました。
- ・昭和 57 年（1982）新潟市学校統合方針により閉校し、白山高校と共に高志高校に統合され、その後北部コミュニティセンターとなってからは、図書館として、地域の方々の運動場として、下町に親しまれた施設でした。

2. 「新潟市工之跡」碑とは？

- ・昭和 56 年 11 月同校閉校にあたり、正面玄関脇に「新潟市工之跡」の石碑が建立されました。その後、北部コミュニティセンターの跡地が下町地域の再開発のため売却され、校舎解体されている中で、私たちはその碑の存在を知りました。



校舎解体のため寝かされている碑

3. 「新潟市工之跡の碑は、町の文化遺産です」

- ・この「新潟市工之跡」碑を、この土地のどこかに保存したいと考えています。幸いにも土地を購入した（株）ひらせいホームセンターの清水泰明社長様より、地元の社会貢献事業として保存へのご理解をいただきました。
- ・この碑は、下町の人にとっても町の文化遺産です。未来の子ども達に、この土地の歴史を伝えるメモリーストーンです。応援をよろしくお願いいたします。

本活動に、入舟地区コミュニティ協議会(会長・田村幸夫、事務局・中川光男)様より、ご理解をいただきました

私も応援・協力したいねという方は、応援団名簿にご記入をお願いいたします

	氏名	住所	連絡先
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

お問合せ先：有志の会発起人 中央区附船町 1 丁目町内会長 近藤 清
 中央区附船町 1 丁目住人 岩間 正吉
 昭和 40 年新潟市工卒業生 加藤 功

多様な新潟市立工業高等学校卒業生

★佐藤 忠男 文化功労者 1952年、新潟市立工業高等学校卒業

日本の評論家、編集者。日本映画大学名誉学長、日本映画学校校長、日本映画大学映画学部教授、日本映画大学学長などを歴任した。アジア映画を中心として世界中の知られざる優れた現代映画を発掘・紹介し、映画界全体の発展に寄与した。

小学校高等科を卒業、海軍の少年飛行兵として終戦を迎えた。

1989年、第7回川喜多賞を妻の佐藤久子とともに受賞。1996年、第46回芸術選奨文部大臣賞を受賞、同年春の褒章で紫綬褒章を受章。2002年、春の叙勲で勲四等旭日小綬章を受章。その他に、王冠文化勲章（韓国）、レジオンドヌール勲章シュヴァリエ、芸術文化勲章シュヴァリエ（フランス）等を受章。2019年、文化功労者。2022年死去、91歳。



★三輪 悟 プロ野球選手 1965年、新潟市立工業高等学校卒業

市工では3年次の1963年エースとして、夏の甲子園県予選準決勝に進む。

卒業後の1964年に新潟市水道局へ入局し、軟式野球部でプレーを続けた。1969年ドラフト2位で西鉄ライオンズに指名され、1970年に入団。

45試合に登板して7勝14敗、リーグ7位の防御率2.91を記録した。

1975年広島東洋カープへ移籍。同年は22回2/3イニング連続無失点のピッチングで、球団史上初のリーグ優勝に貢献。移籍後は全てリリーフで登板し、1980年限りで現役を引退。

引退後は故郷新潟にUターン、地元の特定非営利活動法人「新潟野球人」に参加し、少年野球の指導などを行っていた。

2015年には新潟日報事業社から自叙伝「マウンド人生～絆つむいで」を出版。

2021年死去、75歳。



★久仁 京介 作詞家

社団法人日本作詩家協会副会長、日本音楽著作権協会文化事業委員会委員長、日本音楽著作権協会評議員。

1967年、黒沢明とロス・プリモスの「東京ロマン」で作詞家デビュー。

第48回日本作詩大賞（2015年テレビ東京）にて大賞を受賞した。

代表作に

島津亜矢「独楽」（※2015年第48回日本作詩大賞・大賞受賞楽曲）

新沼謙治「津軽恋女」

日吉ミミ「男と女のお話」

福田こうへい「南部蟬しぐれ」「峠越え」等多数



★三林 碩郎 第86代新潟県県会議議長歴任 2019年死去、72歳

★小嶋 栄吉 日本労働組合総連合会新潟連合会議議長歴任



昭和38年に完成した校舎

校歌

大木博夫 作詞
岡本敏明 作曲

一 飯豊山 千比ゆりかたに
朝雲の のぞみは高し
新らしき工の 業を
まなびを 践みて修めて
人の世の さいはひのため
あわれらら 青春を暮はばや

二 信濃川 うらほす玉に
緑葉の 息吹きは清し
美しき 智慧みつ珠を
みかさむ 思ひひそめて
くらき世の よろこひのため
あわれらら 打ひをかさばや

三 大海の ととろく瀬に
若人の あこがれ熱し
たくましく 勇まの道を
つらぬかむこと つくして
人の世の やすらひのため
あわれらら 青春に祈らばや

新潟市工校歌



新潟市工校旗